

令和2年度(令和元年度実績) 総合評価書 <施設名 池田保育園>

1. 指定管理者名	社会福祉法人多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日
3. 業務の範囲	(1)保育の実施に関すること(通常保育・延長保育・障がい児保育・一時保育・地域子育て支援センター事業) (2)施設及び設備の維持管理に関すること

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)				分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	—	—						
			②利用人数	—	—						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)		40	保育の内容・質等が期待以上:40～32点、保育の内容・質等が例年通り:31～24点、保育の内容・質等が例年よりやや劣る:23～19点、保育の内容・質等が例年より劣る:18～8点、保育の内容・質等が例年よりかなり劣る:7～0点	(1)保育の実施に関すること ①年間利用延べ人数90名(0歳児7名 1歳児12名 2歳児13名 3歳児19名 4歳児20名 5歳児19名 うち支援を必要とする子16名) 年間保育日数289日 ②延長保育年間延べ人数372名 30年度323名 ③土曜保育年間延べ人数346名 30年度341名 ④私的契約児 令和元年度広域入所無し (2)保育内容に関すること ①特別保育 支援保育士を配置し、適切な支援を行う。 ②多治見市が推進するいきいき遊び・運動遊びやリズム遊びを年間を通じて取り組み、集中力と体力づくりを目指す。 ③行事等を通して異年齢交流を行い、思いやりやあこがれの気持ちを育てる。(散歩・誕生会・運動会・土と版画展等) ④多世代の交流の取り組み(太平デイサービス・老人会・支援センター利用者親子・中高生等)で、伝統行事と一緒に経験することで伝統行事の継承交流を図る。 ⑤地域交流(池田小学校・北野保育園・公民館・児童館・児童センター・新規交流土岐川観察館)で地域の人とのつながりを深める。 ⑥食育の実施 バイキング給食 栽培活動を通してクッキングの体験 サンプル給食の展示(毎日) ⑦保護者参観日・懇談会の実施(年2回)、祖父母参観日年1回実施 ⑧給食は、子ども支援課栄養士の指導管理のもと、主任と調理員が中心となってアレルギー対応を随時行い、職員に周知すると共に安心安全な給食運営に努めた。3歳児向けに給食試食会を5月に実施(保護者19名参加) (3)その他 ①主任・未満児・幼児・調理員・子育て支援センター各リーダーを設置 定期的にリーダー会議や年齢別会議を行う。 ②多治見市保育研究会(生活と遊び)・多治見市幼児教育研究会(運動遊び)に参加 ③公立園長会に参加し情報交流を行う。内容に応じて職員会にて職員に周知した。 ④運営懇談会3回実施 ⑤苦情等の窓口は、年度当初に保護者に周知し、ホール掲示板にも常時掲示している。 ⑥防災計画を作成し、避難訓練(火災・地震・水害・土砂災害)消防署立ち合い訓練1回 防火管理者による自主訓練1回実施。消防署立ち合い訓練では、消火栓訓練を行った。防犯訓練は、年4回実施。多治見警察署生活安全課に来ていただき、子ども達には防犯の話、職員には、防犯対策実践と護身術を学び対策に努め、2月の不審者侵入自主訓練に役立てることができた。 ⑦園児の健康管理は、嘱託医師により、年2回の健康診断を実施した。 ⑧年度当初に保育施設及び運営に関する事項を説明し、同意書の回収を行った。 ⑨保護者との連携においては、クラス懇談会年2回実施するとともに、日々においても日課ボードの活用や口頭にて様子を知らせた。 ⑩保護者会と連携し、「夏まつり」と「もちつき会」を実施。 ⑪AED研修(24名)、「気になる子への対応と支援」について若草保育園と合同研修会(講師中京大学岡崎氏 24名参加)、岐阜県保育協議会研修会(1講義1名)、多治見市が主催する各研修会、自主研修、虐待研修、子育て支援センター連絡会研修会等に参加し、職員間で情報共有し資質向上に努めた。 (4)子育て支援センターの実施に関すること ①一時保育年間延べ(土曜日も含む)525名(就業で利用する方の増加) 30年度313名 ②開館年間289日 一般来館者総数 1824名(幼児977名 大人847名) 30年度開館日数292日 2142名(幼児1183名 大人959名) ③事業回数年間64回 参加者総数 1418名(幼児734名 大人684名) 30年度事業回数 63回 1310名(幼児705名 大人605名) ④園庭解放毎日開館 年間37日来所 232名(幼児131名 大人101名) 30年度年間42日 319名(幼児187名 大人132名) (5)子育て支援センター内容に関すること ・季節行事(こいのぼりであそぼう、七夕あそび、水遊び、ちびっこ縁日、ハロウィンパーティー、クリスマス会、お誕生日会) ・運動あそび(サーキットあそび、パオパオバルーンあそび、エアートランポリンあそび)・地域・多世代間交流(幟おこし、軒ぶき、七夕会、防災訓練、花もち作り、しめ縄づくり、五平餅作り)・親の健康増進のための講座(バランスボール、ママビクス、新規としてマタニティーエクササイズ)・親のリフレッシュのための物づくり講座(フォトスタンド作り、干支作り、新規としてアロマハンドトリートメント)・子ども講座(リトミック、手作りおもちゃマラカスマイク、水時計、ハンドベル、くるくるおとし、吊るしびな、ニモの浮沈子、ベビーマッサージ)・食育講座(こいのぼりランチ、給食試食、さつま芋の苗植え、さつま芋堀り、節分会ランチ、新規として保育園のおやつ作り)特に、地域・多世代間交流の行事全般的に、地域のお年寄りの参加が増え、未就園児親子とふれあうことができた。(幼児68人、大人104人)また、ファミリー行事「消防署探検」では、父親が育児に関わり、積極的に子どもとふれあう姿がみられた。(幼児20人、大人24人)	期待以上 40～32点	・低年齢児の受け入れは、市の依頼により、年を通して定員以上の受け入れに対応している。 ・延長保育や土曜保育については、保護者の希望に応じて受け入れができるよう対応をしている。特に延長保育は件数が増加しているにもかかわらず、適正に対応している。 ・子育て支援センター事業について、他機関との連携を図りながら新規事業も取り入れ、積極的に実施しているため、参加者数もかなり増加している。 ・多世代交流や地域交流活動についても積極的に取り組んでいる。 ・公立園の共通した取り組みとして「習慣向上プロジェクトたじみプラン」に沿った事業を実施している。	37点		
		(3)自主事業の企画・運営・実施		—	—						

2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・保育室、調理室及びトイレ等の施設清掃1日1回実施 ・ガラス、エアコンの清掃 年2回実施 ・給食室換気扇の清掃 年4回実施 ・給食室グリストラップの清掃 月1回実施 ・植栽、園庭の清掃管理 年6回実施 ・施設周辺の清掃 毎日	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	10点
			②保守・点検			・備品の点検 年1回 ・点検→職員による安全点検 月1回 専門業者による点検年1回 ・砂場の砂の補充 年2回実施 ・通報装置 消防用設備の保安点検は委託により実施	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	
			③保安・警備			・夜間・休日館内警備については委託により実施 ・日中は玄関を2重に施錠すると共に、設置された防犯カメラの稼働状況を確認して日々の防犯に努めている。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	
			④小規模修繕			・園庭スピーカーの移設 ・印刷機修繕 ・未満児浴槽シャワーホース交換 ・プールシャワー配管 ・宅老所入り口鍵 ・幼児クラスサツシクレセント受け(3カ所) ・流し台蛇口交換	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎日使用する遊戯については使用前に安全確認実施。 ・毎月園舎内外の安全点検と日常業務の中で危険箇所を把握し、速やかに対応している。必要に応じて市へ連絡、対応について協議している。 ・散歩コースの下見を必ず行い、危険箇所の把握と職員間での情報共有に努めた。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・文書目録に基づいて管理している。 ・文書はファイルとデーターで管理している。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。	10点	
		②環境への配慮			・多治見市の環境方針に準じ対応している。紙はリサイクル紙、裏紙を使用している。 ・市役所他の関係機関等の連絡は事項は、メールで対応し、紙の使用を控えている。 ・冷房、暖房は適切な温度に設定し、環境に配慮すると共に、節電節約に努めている。 ・飲食を伴う行事は、箸や食器の持参等で廃棄物の抑制に努めている。 ・廃材を利用したおもちゃ作りを提供している。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。		
		③バリアフリー			・施設内は、段差のないバリアフリー構造であり、玄関から車椅子で入ることができる。園庭に出る際も、濡れ縁の両端はスロープになっており、車椅子でも出入りが可能。 ・車椅子用(多目的)のトイレが設置されている。 ・障がいがある子、支援が必要な子もみなひとつのクラスでの生活を保障(インクルーシブ教育)し、心のバリアフリーを目指す保育をしている。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。		
		④備品管理			・備品の点検を年1回実施。備品台帳に基づき管理している。 ・買い替えが必要な備品については要望書を作成し、担当課に提出した。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。		
		⑤個人情報保護			・個人情報とは、施錠できるキャビネットに収納し管理している。 ・法人において「個人情報保護管理規程」を作成し、年1回職員研修を実施している。 ・個人情報が記載されている書類は不透明なファイルを使用し、関係者以外の目に触れない配慮をしている。	適正(普通) 2点	適切に実施されている。		
		⑥事故等への対応	0		・保育中に起きた事故や怪我において速やかに子ども支援課に報告している。 ・令和元年度事故状況 通院を伴う怪我3件 私有物破損事故1件 ・令和元年度については、県報告対象の事故はなし。	事故なし・対応に不備なし 0点	事故等の対応に不備なし	0点	
3	当該施設の経営状況(5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	・収入108,284,714円 ÷ 支出113,218,211円=95.6%(元年度決算より)	100%未満 3点	保育事業としては、適切な範囲内の収支状況である。	3点
		(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・保育園、保護者会による意見ポスの設置 ・園からのアンケート実施(お泊り保育について・給食試食会・夏の宵まつり・運動会)、保護者懇談会(5月・2月)・連絡帳等によるニーズの把握に努め、速やかに対応した。支援センターでは、9月ちびっこまつり・12月クリスマス会の行事開催後アンケートを実施し、ニーズの把握に努めた。 ・保護者会と連携し、事業(夏まつり・もちつき会)は、両者で打合せを行い円滑に実施できた。 ・年度末保育園に関する詳細なアンケートを取り、細かなニーズの把握に努めた。	期待以上 8点	保育園行事等についてのアンケート等を実施し、保護者ニーズの把握に努め、今後の行事の改善等に繋げている。	8点

4	より良い施設運営のための取組 (30点)		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・苦情解決責任者(園長)、苦情受付担当者(主任保育士)、第三者委員を公示して保護者に周知している。 ・第三者委員評価委員への報告に至るような苦情はなかった。	苦情なし・適正(普通) 4点	適切に実施されている。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)			15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・デイサービスの利用者との交流事業年3回実施(3回中の2回は年長児 1回は、4歳児)核家族が進む中、子ども達は高齢者と触れ合う貴重な体験ができた。また、デイサービス利用者は、子ども達から活力を受ける等相乗効果を得ることができた。 ・池田地域敬老会に参加し、地域のお年寄り方と交流を深めた。 ・池田町屋公民館まつりに参加し、踊りを披露した。 ・毎日給食のサンプルを掲示している。また、「給食だより」にて子ども達に好評な給食やおやつレシピを紹介。保護者の方からは「早速に家で作ってみた」「簡単に作れておいしかった」等喜ばれた。 ・保護者のニーズが高いお泊り保育を年長児に対して実施。食育の一環としてカレー作り体験を実施。 ・側溝の清掃を年3回行い、大雨時の園庭の水はけ対策を心掛けている。 ・園舎まわりの高木の剪定や除草、清掃、園前の公道と辛沢川の法面の除草を行い、環境整備に努めた。 ・多治見警察署生活安全課に来ていただき、子ども達には、防犯の話、職員向けには、防犯対策実践と護身術を学び防犯対策に努め、2月の不審者侵入自主訓練に役立てることができた。 ・保育体験の受け入れ、平和中学校職場体験(3名2日)、中校生の夏のボランティア体験(5日間17名)、積極的に受け入れることで保育士への理解を深めるとともに、開かれた施設を目指した。 ・七夕会や軒ぶきなどの季節行事において、園児と支援センター利用者や地域の高齢者が一緒に取り組む交流の場が定着した。 ・大規模な園庭改修の期間、安全対策に取り組むことができた。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、園内の消毒、子ども達の手洗い、保護者への対応など適正に行うことができた。	期待以上 14点	・新型コロナウイルス感染症対策として、園内の消毒、子ども達の手洗い、保護者への対応等、適正に行っている。 ・大規模な園庭改修の期間中、子どもに危険が及ばないよう、安心・安全な保育の実施に努めている。 ・除草作業、菜園づくりなど環境整備という面では、かなり努力している。
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	・報告書類等の提出は、期限を遵守し確実に提出した。	遅れ・不備なし 減点なし	適切に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	・多治見市の保育方針に基づき保育体制を整えた。(いきいき遊び・運動、リズム遊び、体力づくり、インクルーシブ教育) ・子ども支援課による訪問や教育委員会による訪問時に適宜指示を仰げる時間をを設定した。(園訪問・巡回相談・教育長訪問等)	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適切に実施されている。	0点
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下						合計86点
								全体的な評価 地域や学校との連携を重視し、市の重点施策にも取り組み保育運営を行っている。 特に令和元年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、卒園式などの園行事の縮小等適正に対応している。 また、安心・安全な保育実施という面では、大規模な園庭改修期間中の安全対策や、コロナ感染拡大防止対策としての園内消毒等、適切に実施している。	極めて良好